

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」 新たなステージへ —



みんなとともに



本校の新型コロナウイルス感染症対策は、市教委作成の「福島市公立学校 新型コロナウイルス対策対応マニュアル」に基づいて行っています。その基になっているのが、文科省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」です。その改訂版が出ましたので改めて内容を確認してみました。新たな知見も入っていて勉強になりました。



本校から「クラスター」を発生させないために！ — その3 —

本校は、今年度「少人数指導（1学級2担任制）」を選択していますが、感染状況によっては、「2学級に分けて指導をすることもあり得る」と説明をさせていただいてきました。そのような場面が想定されるのは、文部科学省が定める「『新しい生活様式』を踏まえた学校の行動基準」での「レベル3」になったときになります。なお、知事が記者会見で話している「ステージ」と混同しやすいので、整理をしてみます。

【「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準】

文部科学省の基準				新型コロナウイルス感染症分科会 提言における分類	
感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教育活動			
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない		ステージⅣ	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階
レベル2	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	収束 場面 ↓ 感染リスクの低い活動から徐々に実施	拡大 局面 ↑ 感染リスクの高い活動を停止	ステージⅢ	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階
				ステージⅡ	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階
レベル1	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	適切な感染対策を行った上で実施		ステージⅠ	感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階

<校長の補足>

「レベル1」… 感染防止策（換気、マスク着用等）を行いながら通常の教育活動を行う。

「レベル2」… 感染リスクの高い教育活動の可否を判断しながら、留意して教育活動を行う。

「レベル3」… 感染リスクの高い教育活動は行わず、かつ、学習集団の人数を少なくして教育活動を行う。

もし、感染者がでたときは・・・

- ①家族が「濃厚接触者」になったとき … 家庭の考えで、PCR検査で「陰性」が確認されるまでの間、登校を控えていただくとありがたいです。その際は、「出席停止」扱いにします。
- ②本人が「感染者」になったとき … 「出席停止」になります。期間は「濃厚接触をした日の翌日から起算して2週間」です。なお、「臨時休業」の要否及び期間の判断は、市教委や保健所と相談して行います。
- ③本人が「濃厚接触者」になったとき … ②に同じです。学校への早めの連絡をお願いします。

「かぜ様症状」のときに、家庭で「学校を休む」判断をさせていただいていることが、とてもありがたいです。